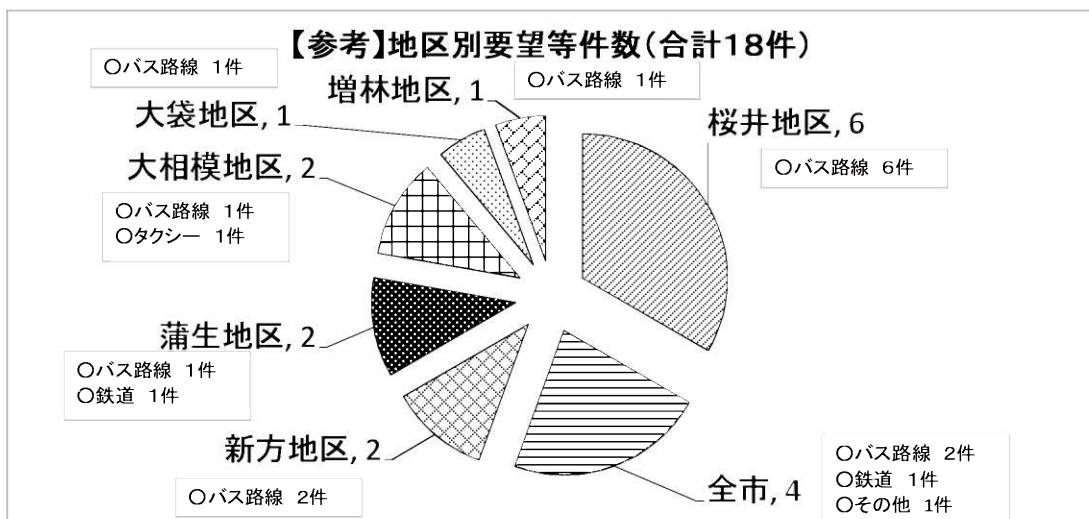
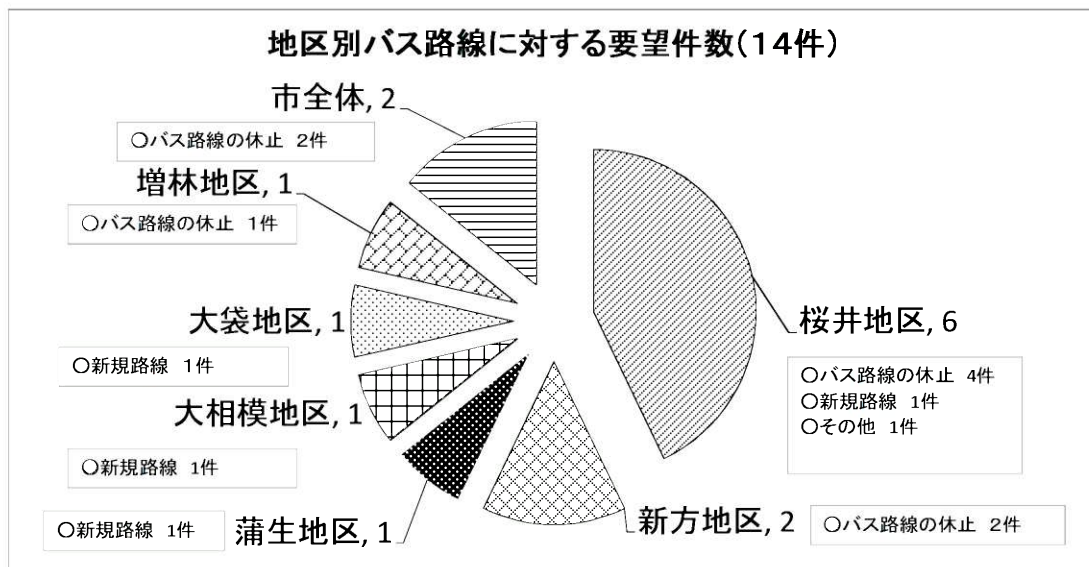
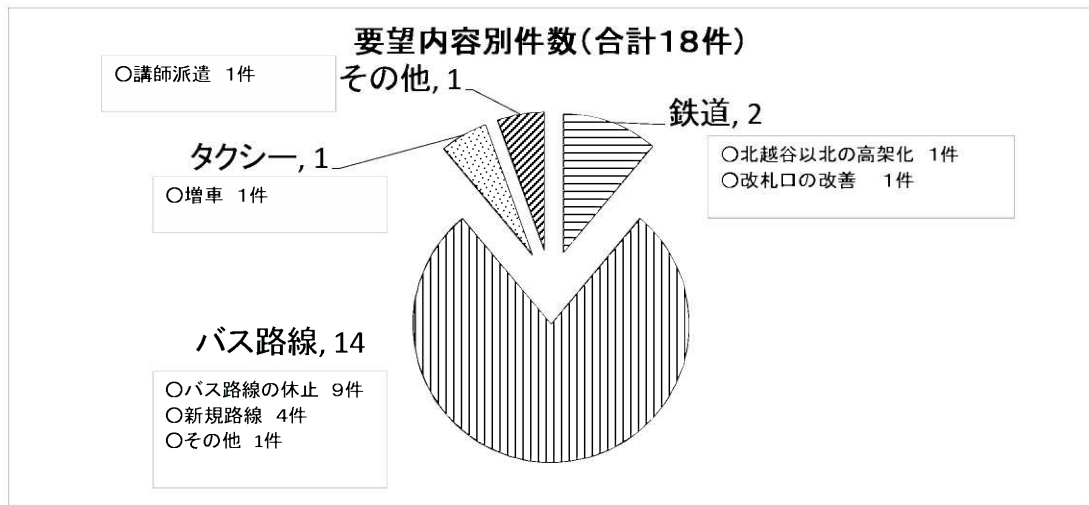


## 公共交通に関する市民要望等一覧(平成30年2月から平成30年10月)



## 公共交通に関する市民要望等一覧（平成30年2月～平成31年10月）

番号	要望受付年月	要望概要	内容	対応等
1	平成30年4月	バス路線 維持対策	株式会社ジャパンタローズが運行している路線バス（せんげん台駅東口～東埼玉テクノポリス線）が7月から休止になると聞いた。この路線バスがなくなると困るので、終わらないようにしてほしい。	市では、現在のところ、ご要望のバス事業者への補助金の交付等の予定はありませんが、鉄道や路線バスを利用しづらい地域において、市民の皆様との連携による新たな公共交通の導入に向けた仕組みの検討を進め、市内の公共交通の充実に向け、市が中心となって計画的に検討してまいります。
2	平成30年4月	バス路線 新設	蒲生地区から越谷レイクタウン駅を結ぶバス路線を開設してほしい。	蒲生地区とレイクタウン方面を結ぶ路線については、市民の方からの関心が高く、何度かご要望をいただいております。市でもバス事業者へ路線開設の可能性について伺ってまいりましたが、「現在、運転手が不足しており、現行路線の維持・確保を考えると、要望へ答えることが難しい」とのことです。また、要望路線については、「足立越谷線・八潮越谷線の渋滞が懸念されるため、路線の定時性・速達性確保が課題」とも伺っております。
3	平成30年5月	コミバスの運行	株式会社ジャパンタローズが運行しているバス路線が3系統が7月より休止となるのは困るので、春日部市、草加市、野田市のように市が運行する路線バスを作ってほしい。	平成28年3月に策定した公共交通に関するマスタープランである越谷市地域公共交通網形成計画では、現在、市が運行するバス路線の位置付けはありません。今後既存の路線バスが、利用者数の低迷により休止とならないよう市民の皆様には、積極的に路線バスをご利用いただきたいと思っております。
4	平成30年5月	鉄道 改札口の改善	毎日通勤に東武鉄道を利用して都内へ通っておりますが、新越谷駅の改札混雑が日増しに増えています。特にラッシュアワーの7時から8時頃がひどいです。混雑で身動きが出来ないこともあります。この乗り降り、特に武蔵野線への乗り換え客の移動で混雑がひどいので、改札を増やして頂きたい。バリエへの改札は商店の開店前には利用されていません。新規に東側に改札を作るのが理想ですが、当面は運用でバリエ側改札口の活用を望みます。	新越谷駅の改札口の改善の要望について、東武鉄道株式会社に情報提供したところ、「当社としても、朝のラッシュ時の混雑については認識しておりますが、引き続き駅員の案内・誘導などで混雑に対応していきたい」とのことです。市としましては、市民の皆様からの要望等は適宜、交通事業者に情報提供してまいります。
5	平成30年5月	バス路線 新設 タクシー 増車	せんげん台駅～大袋駅西口線は、利用率がほとんどなく、無理がある。越谷レイクタウン駅や大宮駅へ直接行けるバス路線があれば利用すると思う。また、深夜のタクシーの台数が少ない。	バス路線「せんげん台駅～大袋駅線」の利用者が少ないことについてですが、このバス路線は、大袋地区の住民の皆様からのご要望を受けて開設されたものでございます。開設にあたりましては、大袋地区の住民の皆様、バス事業者、市の3者により、バス停の位置などについて協議を行うなど、早期の開設に向けて連携して取り組んだ結果、バス事業者により、平成29年11月1日から運行されております。次に、深夜のタクシーが不足していることについてですが、市としましては、深夜後等、一時的にタクシー不足が生じていることを認識しております。しかしながら、越谷市域は、国から、「タクシー数が供給過剰状態である地域」として指定されており、タクシー増車の際には国の認可が必要となるため、増車することが困難な状況でございます。ご提案いただいた、レイクタウン・大宮方面、または、北越谷駅～越谷市北部方面を運行するバス路線の新設や、副業制度によるタクシードライバーの増加については、バス事業者、タクシー事業者に情報提供してまいりますので、ご理解賜りたいと存じます。
6	平成30年5月	バス路線 新設	平成27年度第2回越谷市地域公共交通協議会（平成27年7月1日）で明示された「せんげん台駅東口から平方方面への路線」の導入時期が平成31年となっておりますが、予定とおりに行のか、またコースはいつ決まるのでしょうか。	市では、平成28年3月に策定した越谷市地域公共交通網形成計画の実施事業のひとつとして、「せんげん台駅東口から平方方面への路線」を位置付けていますが、当該バス路線は、市によるコミュニティバスの運行ではなく、民間バス事業者によるバス路線の新設と位置付けているため、開設の年度や具体的な運行計画（運行経路など）については、今後、平方公園の整備スケジュールを勘案し、市民の皆様やバス事業者のご意見などを伺いながら、調査・検討することとなります。また、質問の際に根拠とされている平成27年度第2回越谷市地域公共交通協議会（平成27年7月1日）における配布資料「資料2 越谷市地域公共交通網形成計画の骨子（案）」については、越谷市地域公共交通網形成計画の策定に向けた検討資料であり、平成31年度に平方公園への民間バス路線の導入することを決定するものではありません。
7	平成30年6月	バス路線 新設	荻島地区・大袋地区から老人福祉センターくすのき荘へ直接行けるバス路線を開設してほしい。	市民の皆様からは、各地区から市立病院などの公共施設に乗り継ぎなしに行けるバス路線を開設してほしいとのご要望をいただいておりますが、バス路線の複雑化や利用者が分散されることによる採算性の確保やバス運転手の確保などが課題となり、現時点では、大袋地区周辺から老人福祉センター（くすのき荘）までの直通便の開設は困難な状況です。市としましては、既存の公共交通を維持するため、今ある公共交通を乗り継いで、老人福祉センター（くすのき荘）まで行っていただきたいと思っております。また、市では、市内在住の60歳以上の方で、老人福祉センターを利用した方に帰りのバス運賃利用券を交付する取組も行ってまいります。
8	平成30年6月	バス路線 維持	タローズバスの休止に対する市の考え方、バス事業者に対する財政的支援、公共交通の充実に向けた市民と市の役割について回答してほしい。	市では、バス事業者に対し、バス路線は市民の皆様のご貴重な移動手段であることから、引き続き、利用促進についての啓発などの支援を行うので、バス路線の存続について再考いただくよう、協議を重ねてまいりました。しかしながら、バス利用者数の増加が見込まれないことやバス運転手の不足等の理由により、経営上の判断として、最終的にバス路線の休止が決定されたものでございます。市としましては、市民の皆様のご日常生活等の移動に影響を与えるバス路線の休止については、非常に残念なことを認識しております。また、平成28年3月に策定した越谷市地域公共交通網形成計画（以下、「形成計画」という。）では、公共交通を維持するための交通事業者への財政的支援は位置づけておりません。市民の皆様には、自ら取り組むことができる活動に主体的に取り組んでいただき、本市は、情報の提供等を通じて、市民の皆様との理解を深め、かつ、その協力を得られるよう努めることと認識しております。今後については、形成計画に基づき、鉄道や路線バスを利用しづらい地域においては、市民の皆様との連携による新たな公共交通の導入に向けた仕組みの具体化に関する検討を進め、市内の公共交通の充実に努めてまいります。

## 公共交通に関する市民要望等一覧（平成30年2月～平成31年10月）

番号	要望受付年月	要望概要	内容	対応等
9	平成30年7月	バス路線 復活	7月1日より運休となった株式会社ジャパンタローズの市立病院線について、運行時間を限定してでも復活できるようバス事業者と交渉してほしい。 ・運行（案） 市立病院着 7:30 8:30 9:30 市立病院発 10:30 11:30 12:30	市としましては、路線休止の際に、減便による路線存続等について、株式会社ジャパンタローズと協議してまいりましたが、利用者が少ないことや運転手の確保が困難であることから、運行再開は難しい状況です。
10	平成30年6月	公共交通の充実 路線バスの休止	・株式会社ジャパンタローズが運行する路線バスの休止による市民生活への影響と今後の市の対応についてお聞かせください。また、休止に至る過程での市とバス事業者との連携状況と利用促進の取組についてもお聞かせください。 ・越谷市地域公共交通網形成計画における市の果たすべき役割をお尋ねしたい。 ・過去10年間のバス路線の新設、休止、廃止の傾向と今回のバス路線の休止について市はどのように認識しているのか。また、今後のバス路線の休廃止は増えて行く傾向にあるのか、お尋ねしたい。	・皆様の日常生活等の移動に影響を与え、非常に残念なことで認識しています。今後も、引き続き、「広報こしがや」や「市公式ホームページ」、「こしがや公共交通ガイドマップの配布」等を通じて、利用促進の啓発活動を行います。 ・利便性が高く持続可能な公共交通網の形成に向けて、市民の皆様、公共交通事業者、市の役割分担を明確化しています。今後は、鉄道や路線バスを利用しづらい地域においては、近隣市町の交通施策を調査・研究してまいります。市民の皆様との公共交通地区懇談会を開催し、地域に適した新たな公共交通を導入する仕組みを検討します。 ・過去10年間のバス路線の新設は14系統、バス路線の休止は7月1日予定の路線も含めて4系統、バス路線の廃止は4系統となっています。皆様の日常生活等の移動に影響を与え、非常に残念なことで認識しています。今後は、越谷市地域公共交通網形成計画に基づき、バス路線のPR活動を行うとともに、市民の皆様、公共交通事業者、市の3者がより一層連携し、バス路線の維持・確保に努めます。
11	平成30年7月	公共交通	公共交通網整備に関する学習会へ講師を派遣してほしい。	学習会への講師派遣を行い、越谷市地域公共交通網形成計画の内容等について説明を行いました。 ○日時：平成30年7月23日(月) 午後6時から午後8時15分まで ○場所：中央市民会館 ○参加者数：約20人
12	平成30年9月	バス路線 維持	新方地区は越谷市立病院や越谷市役所に行くには不便な地域で、バス路線が休止となって大変困っています。行政がバス事業者に助成するなど何とかバスを走らせる訳にはいかないでしょうか。	市では、現時点においてバス事業者に助成を行う考えがございません。直接目的地にいけないことについて、納得いただけないこともあると思いますが、現状ある路線をご利用いただけないと次々と他の路線の規模が縮小する懸念もございますので、公共交通の乗り継ぎについてご理解いただきたい。
13	平成30年9月	バス路線 維持	バス路線の維持のための補助金交付、又はタクシー利用券補助などの支援を行わないのか。	市では、現在、バス路線の維持のため、バス事業者に補助金を交付する予定はありません。市では、バス路線の維持のため、市民の皆様が積極的に公共交通をご利用いただくよう啓発活動を行っております。 また、市では、障がいのある方については、障害福祉課においてタクシー利用券の補助や自家用車の燃料費補助などの事業は行っていますが、現在のところ一般市民向けのタクシー利用券を配布する取組は行っておりません。
14	平成30年9月	鉄道 高架化	東武線の北越谷以北について、積極的に、高架化を促進して欲しい。	市では、これまで、沿線の関係市町で構成する「東武伊勢崎線・野田線整備促進協議会」において、東武鉄道に対し、北越谷以北の鉄道の高架化実現に向けて、要望活動を行なってまいりました。しかしながら、東武鉄道からは、昨今、鉄道の旅客需要が全体的に減少傾向にあることから、市内における北越谷以北の高架化について、現在のところ計画はないとの説明を受けております。 鉄道の高架化を進めるにあたっては、事業に伴う市の財政負担のほか、交差する道路の要件などの課題もございます。 今後については、引き続き、東武鉄道に対して、協議会を通じた要望活動を行うとともに、諸課題解決に向け、長期的な視点で検討を行ってまいります。
15	平成30年9月	バス路線 維持	株式会社ジャパンタローズが、7月1日、3系統を休止した。他市では、様々な形で、行政が関与した公共交通を確保している。 その中で、今回のように、バス事業者による路線バスが廃止される場合には、補助制度（要綱）に基づき、バス運行事業者に、補助金を出して、運行を継続している自治体もあるので、本市において、このような取り組みが可能かどうかお尋ねしたい。	市では、平成28年3月に策定しました越谷市地域公共交通網形成計画に基づき、バス路線の維持・充実を図るため、広報こしがや等において公共交通に関する情報提供を行うとともに、バス停利用環境の改善や、公共施設の既設駐輪場をサイクルアンドバスライド駐輪場として位置付けるなど、バスの利用促進とバス利用者の利便性向上に取り組んでおります。また、路線バス等が利用しづらい地域では、市民の皆様との公共交通地区懇談会を開催し、地域に適した新たな公共交通を導入する仕組みの具体化に向け検討を進めております。 バス路線の運行費補助につきましては、現在の越谷市地域公共交通網形成計画に位置付けはございませんが、他の自治体の事例を調査・研究してまいります。
16	平成30年10月	バス路線の維持	株式会社ジャパンタローズが、7月1日に「せんげん台駅東口～市立病院線」を休止した。そのため、困っている市民がいるので、運行本数が少なくとも良いので再開してほしい。	既存のバス路線等を乗り継いで、目的地に行くことを検討いただきたい。 ※北越谷駅行きのバス路線と鉄道、越谷駅東口から越谷市立病院等行きのバス路線の乗り継ぎ案内を行った。
17	平成30年10月	バス路線の維持	株式会社ジャパンタローズが7月1日付けで休止したのバス路線「せんげん台駅東口～市立病院線」の再開のため、市が補助金を交付することはできないのか検討してほしい。	平成28年3月に策定した越谷市地域公共交通網形成計画では、公共交通を維持するための交通事業者への財政的支援は位置付けておりません。 市としましては、バス路線が休止・廃止とならないよう、市民の皆様には積極的にバス路線をご利用いただきたいと思っております。

公共交通に関する市民要望等一覧（平成30年2月～平成31年10月）

番号	要望受付年月	要望概要	内容	対応等
	合計	合計 18件（鉄道関係 2件、バス関係 14件、タクシー関係 1件、その他 1件） ※1件の要望で路線バス及びタクシーに関する内容があったため合計は一致しない。 ※バス関係の14件のうち、バス路線の休止に関する要望が9件と多い。		